



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月4日

上場会社名 わかもと製薬株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4512 URL <https://www.wakamoto-pharm.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 五十嵐 新  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 福原 和彦 TEL 03-3279-0371  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,860	△8.1	△57	—	△28	—	100	—
2023年3月期第1四半期	2,023	2.9	△24	—	△2	—	△4	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	2.90	—
2023年3月期第1四半期	△0.14	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	15,507	12,002	77.4	345.83
2023年3月期	15,711	11,906	75.8	343.06

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 12,002百万円 2023年3月期 11,906百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 次期の配当は未定であります。

直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	34,838,325株	2023年3月期	34,838,325株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	131,488株	2023年3月期	131,398株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	34,706,908株	2023年3月期1Q	34,707,239株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症がその法的位置付けを5類感染症へ移行され、社会経済活動が徐々に正常化に向かうなか、個人消費の回復やインバウンド需要の増加等国内景気は緩やかな回復基調となりました。一方、ウクライナ情勢の長期化に起因した原材料価格・エネルギー価格の高騰を受け、依然として先行き不透明な状況が続いております。

かかる状況における当社事業を取り巻く環境は、医薬事業において毎年の薬価改定による薬剤費の引き下げが継続的に推し進められ、引き続き、厳しい環境下にあります。一方、ヘルスケア事業では国内消費が緩やかに持ち直しつつあることに加え、インバウンド需要が急速に回復しております。

当社医薬事業では、その活動として、これまでの医療用医薬品の適正使用の推進と副作用関連の情報提供に加え、医療機関や卸へ、主力製品である眼科手術補助剤・眼科用副腎皮質ホルモン剤「マキュエイド眼注用40mg」の供給停止に関する情報提供の活動を推進してまいりました。また、卸との連携をより一層強化することで、既存の後発医薬品の売上高、利益確保に努めてまいりました。前年度より新規参入した医療機器の分野においても、ターゲット施設を明確にしたプロモーション活動を開始してまいりました。

ヘルスケア事業においては、インバウンド需要を取り込んだ店頭での販促活動やSNSを活用した広告宣伝に加え、主力製品の「強力わかもと」を国内の新規顧客層に対して認知拡大を図ってまいりました。また通販では4月に女性特有の悩みに寄り添うことを目的にフェムテックブランド「フェミフローラ」を発売いたしました。

グローバル事業にあつては、台湾などアジア圏での「強力わかもと」の販売に加え、米国や欧州、アジア圏においてライセンスイン・アウトの活動、また中国越境ECビジネスでの代理店との協働を促進した営業活動を行い、国内では乳酸菌原料を始めとし、医薬品原料の販売や受託製造を推進してまいりました。

その結果、当第1四半期累計期間の売上高は18億6千万円（前年同期比8.1%減）、営業損失5千7百万円（前年同期は営業損失2千4百万円）、経常損失2千8百万円（前年同期は経常損失2百万円）、四半期純利益1億円（前年同期は四半期純損失4百万円）となりました。

セグメント別の売上高の状況につきましては、医薬事業では不採算品算定の特例措置で薬価が上がったことにより「ヒアルロン酸Na点眼液」、アデノウイルス感染症拡大の影響によりアデノウイルスキット「キャピリアアデノアイNeo」の売上が増加いたしました。一方、製品供給停止の影響により「マキュエイド眼注用40mg」の売上が減少し、花粉飛散状況の影響を受け、抗アレルギー点眼薬「ゼペリン点眼液0.1%」及び「エピナスチン塩酸塩点眼液0.05%」の売上が減少いたしました。その結果、売上高は8億6千1百万円（前年同期比20.1%減）となりました。

ヘルスケア事業では、戦略的に広告宣伝費を抑制したことにより、通販事業における「アバンビーズ オーラルタブレット」の売上が減少いたしました。一方、インバウンド需要を戦略的に取り込み、主力製品の「強力わかもと」の売上が増加いたしました。その結果、売上高は5億4千4百万円（前年同期比21.8%増）となりました。

グローバル事業では、輸出用の点眼剤の売上が増加いたしました。一方、輸出用の「強力わかもと」及び国内における抗アレルギー点眼薬の受託製品の売上が減少いたしました。その結果、売上高は4億1千1百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

不動産賃貸業の主たる収入はコレド室町関連の賃貸料であります。オフィス賃貸料及び商業賃貸料はテナント入替の影響により減少いたしました。その結果、売上高は4千2百万円（前年同期比5.9%減）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、155億7百万円となり前事業年度末比2億4百万円（1.3%）の減少となりました。流動資産は90億7千9百万円となり2億7千4百万円（2.9%）の減少、固定資産は64億2千7百万円となり6千9百万円（1.1%）の増加となりました。

流動資産が減少いたしましたのは、現金及び預金が増加した一方、売掛金が減少したことが主たる要因であります。固定資産が増加いたしましたのは、投資有価証券が増加したことが主たる要因であります。

一方、負債の部は、35億4百万円となり前事業年度末比3億円（7.9%）の減少となりました。流動負債は18億5千7百万円となり3億8千1百万円（17.0%）の減少、固定負債は16億4千7百万円となり8千1百万円（5.2%）の増加となりました。

流動負債が減少いたしましたのは、買掛金、賞与引当金が減少したことが主たる要因であります。一方、固定負債が増加いたしましたのは、繰延税金負債が増加したことが主たる要因であります。

純資産の部は、120億2百万円となり前事業年度末比9千6百万円（0.8%）の増加となりました。その他有価証券評価差額金が増加したことが主たる要因であります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の75.8%から77.4%となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社が製造販売する製品「マキユエイド眼注用40mg」において、出荷判定試験で不適合となる結果が認められたため、2023年4月末より当該製品の供給を停止しております。現在、出荷再開に向けて尽力しておりますが、現時点で具体的な出荷再開時期は未定であります。本件について現時点で影響額の正確な把握が困難であることから通期の業績予想につきましては「未定」としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,879,325	4,184,558
売掛金	3,196,694	2,628,719
商品及び製品	990,073	998,931
仕掛品	296,473	363,284
原材料及び貯蔵品	666,329	520,482
未収還付法人税等	-	4,295
その他	324,490	378,968
流動資産合計	9,353,387	9,079,239
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,942,043	7,953,543
減価償却累計額	△5,458,749	△5,507,738
建物（純額）	2,483,293	2,445,805
構築物	268,504	268,504
減価償却累計額	△250,492	△251,964
構築物（純額）	18,011	16,540
機械及び装置	8,348,009	8,366,852
減価償却累計額	△8,006,367	△8,024,256
機械及び装置（純額）	341,641	342,596
車両運搬具	37,843	37,843
減価償却累計額	△33,752	△34,248
車両運搬具（純額）	4,090	3,594
工具、器具及び備品	1,026,366	1,036,122
減価償却累計額	△945,562	△952,101
工具、器具及び備品（純額）	80,804	84,020
土地	82,947	82,947
建設仮勘定	21,422	28,472
有形固定資産合計	3,032,210	3,003,975
無形固定資産		
ソフトウェア	139,238	131,581
ソフトウェア仮勘定	59,150	69,715
その他	3,680	3,680
無形固定資産合計	202,069	204,977
投資その他の資産		
投資有価証券	2,483,290	2,571,783
保険積立金	311,940	312,945
修繕積立金	81,158	87,229
その他	283,499	282,335
貸倒引当金	△36,003	△35,403
投資その他の資産合計	3,123,886	3,218,890
固定資産合計	6,358,165	6,427,843
資産合計	15,711,553	15,507,082

（単位：千円）

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	997,649	802,834
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	87,914	16,205
未払消費税等	77,728	45,488
賞与引当金	218,200	69,626
その他	757,423	823,056
流動負債合計	2,238,916	1,857,210
固定負債		
退職給付引当金	1,052,873	1,057,689
長期預り金	172,386	164,710
繰延税金負債	340,177	424,509
その他	529	264
固定負債合計	1,565,968	1,647,174
負債合計	3,804,884	3,504,385
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金	2,675,828	2,675,828
利益剰余金	4,706,464	4,703,114
自己株式	△36,350	△36,371
株主資本合計	10,741,831	10,738,459
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,164,838	1,264,238
評価・換算差額等合計	1,164,838	1,264,238
純資産合計	11,906,669	12,002,697
負債純資産合計	15,711,553	15,507,082

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,023,375	1,860,322
売上原価	1,042,505	986,072
売上総利益	980,870	874,249
販売費及び一般管理費	1,005,435	932,145
営業損失(△)	△24,564	△57,895
営業外収益		
受取配当金	23,067	28,046
その他	5,624	3,230
営業外収益合計	28,691	31,277
営業外費用		
支払利息	144	142
寄付金	5,348	1,677
為替差損	696	-
その他	128	105
営業外費用合計	6,317	1,925
経常損失(△)	△2,190	△28,543
特別利益		
投資有価証券売却益	-	175,097
特別利益合計	-	175,097
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△2,190	146,554
法人税、住民税及び事業税	4,601	4,789
法人税等調整額	△1,918	40,994
法人税等合計	2,683	45,784
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,874	100,769

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期累計期間（自2022年4月1日 至2022年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期損益 計算書計上 額(注)
	医薬事業	ヘルスケア 事業	グローバル 事業	不動産 賃貸業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,078,930	447,442	451,887	45,115	2,023,375	—	2,023,375
計	1,078,930	447,442	451,887	45,115	2,023,375	—	2,023,375
セグメント利益又は 損失(△)	△83,380	23,245	18,633	16,935	△24,564	—	△24,564

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

当第1四半期累計期間（自2023年4月1日 至2023年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期損益 計算書計上 額(注)
	医薬事業	ヘルスケア 事業	グローバル 事業	不動産 賃貸業			
売上高							
外部顧客への売上高	861,868	544,962	411,017	42,473	1,860,322	—	1,860,322
計	861,868	544,962	411,017	42,473	1,860,322	—	1,860,322
セグメント利益又は 損失(△)	△173,832	75,025	27,048	13,863	△57,895	—	△57,895

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業損失(△)と一致しております。